

2024年4月22日
株式会社 BookLive

**総合電子書籍ストア「ブックライブ」、
4月22日より、ビジネスホテル客室テレビ CM「おもチャンネル」の番組
「優木まおみと楽しむ！わくわくホテル時間」とのコラボ企画を配信！
～年間2000冊マンガを読むプロ書店員が、ビジネスパーソンに向けた
人気マンガランキング BEST10の中からオススメ作品をご紹介します！～**

TOPPANホールディングス株式会社のグループ会社である、株式会社 BookLive（本社：東京都港区・代表取締役社長：淡野 正、以下「当社」）は、アパホテルや京急 EX インなど、全国42,000室以上で展開しているホテル内客室テレビ CM「おもチャンネル」の番組「優木まおみと楽しむ！わくわくホテル時間」と、当社が運営する総合電子書籍ストア「ブックライブ」のコラボレーション企画を配信することをお知らせします。

「優木まおみと楽しむ！わくわくホテル時間」の新作として4月22日（月）より配信を開始し、2回に渡りお届けします。



■「優木まおみと楽しむ！わくわくホテル時間」とは

おもチャンネルにて配信中の「優木まおみと楽しむ！わくわくホテル時間」は、ビジネスホテルに宿泊する方が客室内での時間を楽しく過ごせるよう、おすすめの商品やサービスを紹介する番組です。

番組 MC の優木まおみさんが実際に商品やサービスを体験したり、担当者などにこだわりのポイントを詳しく聞いたりすることで、その魅力をわかりやすくお伝えします。

■「ブックライブ」コラボ企画：ビジネスパーソン向けマンガから人気ランキング上位の作品をご紹介します！

今回のテーマは、スマホやパソコン、タブレットで楽しめる「電子書籍」です。

マンガをはじめ、豊富なラインナップで100万冊以上の作品を配信している総合電子書籍ストア「ブックライブ」の、この道10年以上、年間2000冊マンガを読むプロ書店員「すず木」が、ビジネスパーソン向け人気マンガランキング BEST10の中から、オススメ作品をピックアップしてご紹介します。

作品のストーリー解説はもちろん、魅力の分析やビジネスパーソンに人気が出た秘密など、「ブックライブ」書店員ならではのコアな情報が満載です。優木まおみさんとの軽快なトークにもぜひご注目ください！

【配信予定】

「優木まおみと楽しむ！わくわくホテル時間」（第3回・第4回）電子書籍特集

配信開始日：2024年4月22日（月）

・書店員「すず木」プロフィール（ブックライブ）

総合電子書籍ストア「ブックライブ」で働くプロ書店員。2005 年より電子書籍サイトの運営に携わっており、年間読むマンガの冊数は 2000 冊以上。「本当に面白いマンガを多くの人に読んで欲しい」をモットーに、ブックライブでの SNS や特集ページ、メディア出演を通して、ジャンルを問わずオススメのマンガを幅広く紹介し続けています。

■「おもチャンネル」とは

「おもチャンネル」は、ビジネスホテルの客室内テレビモニターを活用した動画広告メディアです。入室時にカードキーを差し込んだ際、照明が点灯すると同時にテレビが自動的に立ち上がり、音声付きで CM 動画が流れます。

現在は、アパホテル 41,292 室と京急 EX イン 1,210 室の計 42,502 室に導入されています。

「おもチャンネル」詳細 URL : <https://www.omochan.jp/>



総合電子書籍ストア「ブックライブ」は、“いつも心に「マンガ部屋」を。”をコンセプトに、人生を豊かにする本との出会いと、心ゆくまで楽しむことができるサービスを今後も提供してまいります。

【総合電子書籍ストア「ブックライブ」について】

ブックライブは、2011 年よりサービスを開始し、豊富な品揃えで 100 万冊以上配信する国内最大級の総合電子書籍ストアです。読者の利便性を最優先に、いつでも、どこでも簡単に楽しめるサービスを提供しています。

- 総合電子書籍ストア「ブックライブ」 <https://booklive.jp/>
- 公式 X（旧 Twitter） https://twitter.com/BookLive_PR

【株式会社 BookLive について】

BookLive は「新しい価値を創造することで、楽しいをかたちにする」を企業理念に、電子書籍ストアやマンガアプリ等の運営を通じて、読者の心を豊かにするコンテンツの提供や IP の創出を行っています。またテクノロジーが進化するなかで、クリエイターやコンテンツの価値向上を目指すと共に、新たなビジョンとして「グローバル・デジタル・エンターテインメントカンパニーへの飛躍」を掲げています。

当社は今後も BookLive グループの強みを活かし、様々な企業と連携することで、より良質なコンテンツを生み出し続けるエコシステムを構築していきます。

URL : <https://www.booklive.co.jp/>

本文中に記載されている会社名、サービス名及び製品名等は各社の登録商標または商標です。